

## 平成22年度予算

平成22年度の各会計の予算総額は、339億5千760万円で、平成21年度の当初予算と比較すると、1.3%の増となりました。

内訳は、一般会計が6.9%の増、特別会計の合計が4.6%の減、水道事業会計が9.2%の減となっています。

現在、市の財政は、市税収入の伸び悩みや、市債償還の高止まりなどにより大変厳しい状況にある中、平成22年度の予算は、一般会計では4年ぶりの増加となっています。これは、地上デジタル放送に対応するための中継局整備事業や『子ども手当』の支給経費、北海道からの受託事業などによる影響が大きく、市の単独事業による増加ではないため、実際には引き続き『緊縮型』の予算であるといえます。

なお、市内中小企業の受注に配慮するため国の交付金を活用して、平成22年度や平成23年度以降に計上する予定であった事業の一部を、平成21年度の補正予算に計上し、これを翌年度に繰り越して執行することとしました。

一般会計の主な歳入では、市税が前年度比0.3%減の53億4千822万円、地方交付税は対前年度比5.0%増の54億2千600万円をそれぞれ見込み、市債は地方交付税の振替えである臨時財政対策債7億8千240万円を含む、12億9千870万円を計上しています。

なお、財政調整基金や減債基金、北海道市町村備荒資金組合超過納付金から、合わせて3億2千万円を取り崩すことで、財源不足を補うこととしました。

一般会計の主な歳出では、子ども手当支給経費の新設や障害福祉・生活保護費などの扶助費が増加したことなどにより、民生費が前年度比17.8%増の64億9千27万円となりました。また、公債費は市債の償還額が引き続き高止まりの状況にありますが、前年度比1.9%減の32億4千8万円となりました。

平成21年度から特別枠を設けて実施している『明日のまちづくり事業』では、平成22年度は、本との出会いやふれあいの場を提供する事業、ウォーキングを通じスポーツの振興・健康増進を図るとともに、地域の再発見や全市観光の推進などを目的とする事業の新規2事業と、内容を充実させて継続実施する4事業に合計1千45万円を計上しました。

また、国の緊急雇用対策として交付される補助金を活用し実施する『緊急雇用創出推進事業』10事業に総額2千482万円を計上しました。

各会計予算総括表

(単位：万円・%)

会計区分	平成22年度 当初予算額	平成21年度 当初予算額	比較増減	伸び率 (%)
一般会計	1,911,300	1,787,200	124,100	6.9
特別会計	1,339,520	1,404,600	△ 65,080	△ 4.6
国民健康保険	636,670	631,180	5,490	0.9
学校給食事業	35,520	35,890	△ 370	△ 1.0
公共下水道事業	272,630	357,230	△ 84,600	△ 23.7
老人保健	180	3,110	△ 2,930	△ 94.2
簡易水道事業	3,270	2,970	300	10.1
介護保険	317,300	302,000	15,300	5.1
カルルス温泉 スキー場事業	11,090	12,720	△ 1,630	△ 12.8
後期高齢者医療	62,860	59,500	3,360	5.6
水道事業会計	144,940	159,560	△ 14,620	△ 9.2
収益的支出	90,350	91,520	△ 1,170	△ 1.3
資本的支出	54,590	68,040	△ 13,450	△ 19.8
合 計	3,395,760	3,351,360	44,400	1.3

一般会計歳入

(単位：万円・%)

費 目	平成22年度		平成21年度 当初予算額	比較増減	伸び率 (%)
	当初予算額	構成比			
市税	534,822	28.0	536,477	△ 1,655	△ 0.3
地方交付税	542,600	28.4	516,600	26,000	5.0
使用料及び手数料	58,957	3.1	59,723	△ 766	△ 1.3
国庫支出金	286,269	15.0	209,494	76,775	36.6
道支出金	130,464	6.8	93,847	36,617	39.0
繰入金	62,069	3.2	92,282	△ 30,213	△ 32.7
諸収入	59,105	3.1	63,791	△ 4,686	△ 7.3
市債	129,870	6.8	106,210	23,660	22.3
その他	107,144	5.6	108,776	△ 1,632	△ 1.5
合 計	1,911,300	100.0	1,787,200	124,100	6.9

一般会計歳出

(単位：万円・%)

費 目	平成22年度		平成21年度 当初予算額	比較増減	伸び率 (%)
	当初予算額	構成比			
議会費	14,531	0.8	14,837	△ 306	△ 2.1
総務費	93,424	4.9	73,301	20,123	27.5
民生費	649,027	34.0	550,989	98,038	17.8
衛生費	132,542	6.9	136,019	△ 3,477	△ 2.6
労働費	9,445	0.5	9,266	179	1.9
農林水産業費	4,752	0.2	4,430	322	7.3
商工費	25,627	1.3	26,207	△ 580	△ 2.2
土木費	148,056	7.7	139,465	8,591	6.2
消防費	9,462	0.5	11,514	△ 2,052	△ 17.8
教育費	87,166	4.6	88,494	△ 1,328	△ 1.5
公債費	324,008	16.9	330,279	△ 6,271	△ 1.9
給与費	408,260	21.4	397,399	10,861	2.7
予備費	5,000	0.3	5,000	0	0.0
合 計	1,911,300	100.0	1,787,200	124,100	6.9

## 『一般会計歳入』

- ◎市税…市民税や固定資産税、都市計画税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税があり、市の収入の約3割を占めています。
- ◎地方交付税…地方公共団体が標準的な行政サービスを提供できるよう、財政状況などに応じて国から配分されるお金。
- ◎使用料及び手数料…ごみ処理手数料や建築確認手数料、戸籍手数料など、利用した方が納める受益者負担金。
- ◎国庫（道）支出金…交付金や補助金、委託金があり、市が事業や事務を行うために国や道から交付されるお金。
- ◎繰入金…基金（家庭でいうと貯金）を取り崩して使用するお金。
- ◎諸収入…基金の利子や貸付金の回収元金、利子、福祉施設に入所している方に負担金として納めていただくお金など。
- ◎市債…施設や道路などを整備する際、通常の財源だけでまかなうのが困難なため、借り入れするお金。
- ◎その他…自動車重量税や消費税などの税金の一部が国から交付されるお金など。

## 『一般会計歳出』

- ◎議会費…市議会に関することに使うお金。
- ◎総務費…国際交流や各地域との交流、地域情報化、広報広聴活動、防災などに使うお金。
- ◎民生費…福祉に関することに使うお金。
- ◎衛生費…健康の増進や病気の予防、ごみの処理などに関することに使うお金。
- ◎労働費…労働に関することに使うお金。
- ◎農林水産業費…農業や水産業に関することに使うお金。
- ◎商工費…商工業に関することに使うお金。
- ◎土木費…都市基盤整備に関することに使うお金。
- ◎消防費…火災や救急業務に関することに使うお金。
- ◎教育費…教育に関することに使うお金。
- ◎公債費…借入金の返済に使うお金。
- ◎給与費…職員の給与に使うお金。
- ◎予備費…予備のお金。

## 特別会計・事業会計

### 『国民健康保険特別会計』

国民健康保険加入者の医療費の一部負担や各種検診の助成、健康づくりなどの事業を行います。

### 『学校給食事業特別会計』

子どもたちの栄養を満たすことができるおいしい給食を市内の小・中学校や保育所に調理・配送します。

### 『公共下水道事業特別会計』

都市基盤整備の一環である公共下水道を整備します。今年度は新栄町、登別本町2丁目及び若山町3丁目のそれぞれ一部の下水道を整備します。

公共下水道整備区域外となる『個別排水処理区域』では、住民の要望により、市が浄化槽を設置・維持管理をする『個別排水処理施設整備事業』を行います。

### 『老人保健特別会計』

高齢者の医療費負担を軽減するため、医療費の一部を給付します。

※老人保険制度が廃止され、平成20年4月から後期高齢者医療制度が始まりました。そのため遡及請求分の給付になります。

### 『簡易水道特別会計』

札内地区などの飲料・営農用水施設の整備を行います。

### 『介護保険特別会計』

介護が必要な高齢者などを対象に、在宅や施設での介護サービスを行います。

### 『カルルス温泉スキー場事業特別会計』

カルルス温泉スキー場の運営を委託し、ウインタースポーツの振興と観光振興、カルルス地区の活性化を図ります。

### 『後期高齢者医療特別会計』

75歳以上の方などを対象に、北海道後期高齢者医療広域連合が保険者として運営する後期高齢者医療制度の事務のうち、市は保険料の徴収や窓口業務などを行います。

### 『水道事業会計』

安全で良質な水の供給や送配水施設の整備などを行います。